



加高だより

創立120周年記念式典等

「龍門の樺 ～先人を超えて 歩を刻め～」

加治木高等学校は、明治30年に鹿児島県尋常中学校第二分校として開校以来、3万3千人を超える卒業生を輩出し、平成29年度に創立120周年を迎え、11月11日には記念式典等を盛大に挙行することができました。

タイトルにある「龍門の樺 先人を超えて 歩を刻め」は、平成29年度の生徒会スローガンです。生徒は、このスローガンのもと、記念事業や記念行事を通して卒業生からさまざまなものを受け継ぎ、更にそれを超えようと努力しながら歩み続けています。そして、その受け継いだものを次の世代に繋いでくれることでしょう。

記念式典等の様子について紹介します。

亡師亡友慰霊祭



11月11日の早朝、慰霊碑前で亡師亡友慰霊祭が行われました。早朝にもかかわらず、同窓生や旧職員など多くの方が列席されました。生徒代表として、3年生の元生徒会長・副会長の幸喜さん(菱刈)、柏木さん(重富)も列席しました。

記念コンサート



式典の前には、「ななつ星in九州」等で活躍されているヴァイオリニストの大迫淳英さん(44期)による記念コンサートがありました。大迫さんのMCによる曲の説明があり、8曲演奏されました。途中、吹奏楽部とのコラボによる校歌の演奏や、記念事業実行委員会から寄贈された楽器の紹介もありました。

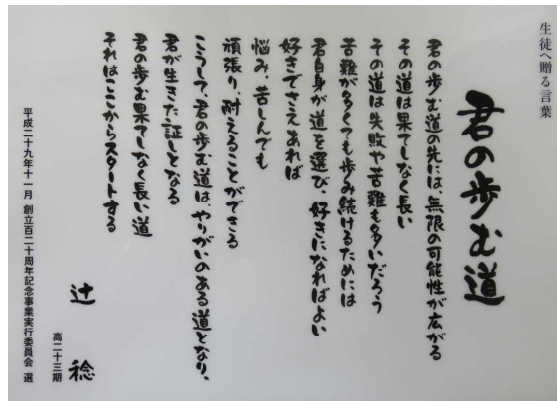
記念式典・表彰式



式典では、原口校長による式辞・末永実行委員長挨拶・来賓挨拶の後、生徒会長の四本さん(牧園)が、繋がりを大切にし、校是の実現と母校の発展に全力を尽くしたいと生徒代表とし

て挨拶しました。

式典後、生徒へ贈る言葉の表彰がありました。「君の歩む道」を作られた辻稔さん(23期)へ表彰状が授与されました。「君の歩む道」は、龍門会館に掲げられます。



生徒へ贈る言葉「君の歩む道」

記念講演会



記念式典後に、弁護士で東京大学大学院教授の淵邊善彦先生(35期)による記念講演会が行われました。「社会が変わる、法律が変わる～AI・IoT時代の働き方を考える～」という演題で、AI技術が進むこれからの社会において、私たちはどうあるべきか示唆を与えてくださいました。最後に全校生徒で、大迫さんと淵邊先生へお礼の応援歌を歌い、紫組団長の福田さん(国分南)によるエールで全ての記念行事が終了しました。

先輩が後輩に贈る龍門講座



記念式典の前日の11月10日、24人の同窓生を招いて「先輩が後輩に贈る龍門講座」が行われました。創立110周年を記念して始まったこの行事は、例年は1年生のクラスだけで行っていますが、今回は創立120周年を記念して3学年全てのクラスで実施しました。国内外の各界で活躍されている方々のお話は、非常に興味深いものばかりでした。職業に対する意識が高まるとともに、加治木高校の繋がりを感ずる1時間でした。

★行事の詳細、学校生活の様子は加治木高校ブログをご覧ください。随時更新中です。
「加治木高校ブログ」で検索!